

雑草イネの発生動態

福島県農業総合センター 作物園芸部 稲作科

1 部門名

水稻－水稻－雑草防除

2 担当者名

渡邊和弘、鈴木幸雄

3 要旨

県内の各地で雑草イネの発生が問題となっており、その効果的な防除法を開発するため、発生動態を明らかにする必要がある。

そこで、秋の水田に雑草イネを播種し、その出芽を調査したところ、翌春に代かきをしなかった場合には、6月まで43～50%が出芽した（表1）。代かきを行った後に雑草イネを播種した場合には、代かき後の積算気温が90°Cを超えた時点から出芽し始め、積算気温が400°Cを超えた時点では90%に達した（図1）。

表1 秋に播種した雑草イネの出芽率

		1月	4月	5月	5月	5月	6月	
		16日	3日	7日	13日	21日	27日	
		9日						
雑草イネ	表面	0	0	0	32	46	48	
	混和	0	0	1	12	33	40	
(比較) コシヒカリ	表面	0	0	0	9	12	13	
	混和	0	0	0	4	6	7	

注) 雑草イネ、コシヒカリ：2019年郡山市産

注) 雑草イネ：コシヒカリと同じ熟期、コシヒカリより長稈、ふ先色が赤色

注) 播種:2019年10月26日、入水:2020年5月7日

注) 表面：土壌表面に播種 混和：土壌深2cmに混和播種

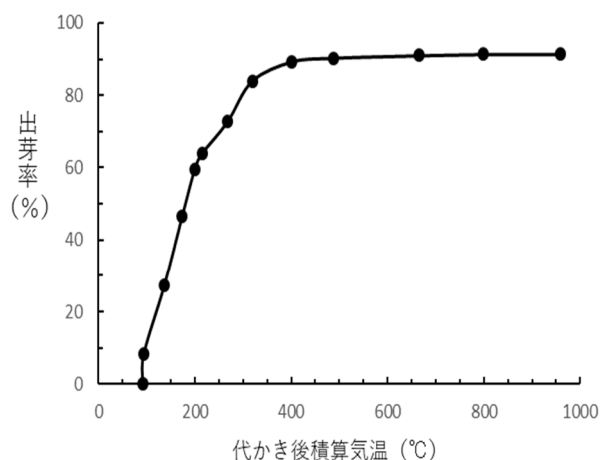


図1 代かき後播種した雑草イネ出芽率 (%)

* 乾籾播種(2020/4/23)

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和元年～令和2年度

(2) 研究課題名 寒冷地における雑草イネ省力的防除技術の開発

〔戦略的プロジェクト研究推進事業〕

5 主な参考文献・資料

(1) 雑草イネ総合防除対策マニュアル 平成25年4月（長野県雑草イネ対策チーム編）